

## 第106回(2022年2月度)監査技術ゼミ 結果報告

運営委員長 菊谷 純  
(文責: 松下 洋二)

1. 開催日時 2022年2月18日(金) 午後2時00分～午後4時00分
2. 開催方法・場所 ZOOMを利用したオンライン会議方式  
講師は事務所より解説  
司会(委員長)は自宅より進行  
委員は自宅または職場にて参加およびオンライン会議のサポート
3. テーマ 「2022年版取締役職務執行確認書」の解説
4. 講師 取締役職務執行確認書委員会 委員長 小林 正一氏
5. 出席者 37名
6. 配布資料 (事前に参加予定者にメールで送付)
  - ① 一般社団法人監査懇話会「取締役職務執行確認書のひな型についての説明(改訂版)」2022年1月
  - ② 一般社団法人監査懇話会「取締役職務執行確認書」2022年1月
  - ③ 「取締役職務執行確認書に関するよくある質問事例」2022年2月18日
7. 議事次第
  - 1) 運営委員長より開会の挨拶  
菊谷運営委員長よりオンライン参加者のZOOM接続状況を確認したのち、開会挨拶と本日のテーマ紹介を行い、講師の小林正一氏を紹介された。  
なお出席者の内、旧独立委員会セミナーも含めて当ゼミへの初参加者は以下の通り。  
(株)ニューフレアテクノロジー 常勤監査役 森 重哉 氏
  - 2) 講義および質問事例回答  
午後2時3分より3時2分まで、講師から各委員の紹介、および資料①②に従い今回の改訂内容の解説がなされ、さらに資料③の「よくある質問事例」に対して各委員から回答がなされた。
  - 3) 提示された論点に意見交換等  
講義および質問事例回答の後、10分間の休憩を挟んで、午後3時12分から出席会員会友と質疑応答が行われた。  
質疑の要旨は以下の通り。  
(取締役職務執行確認書の内容について)
    - ・第8項「インサイダー取引・適時開示についての確認」については、内部者取引管理規程の確認が先ではないか。
    - ・第11項「反社会的勢力との関係についての確認」では自治体ごとに暴力団排除条例が異なるので注意が必要
    - ・第2項「取締役会の運営、代表取締役等に対する監督責任及び経営判断原則についての確認」の確認事項が5項目あるが、どれか一つ当てはまれば良いのか
    - ・第7項「不適正な会計処理」はコロナ影響で不正のありようが変わってきているのではないか。(取締役職務執行確認書の活用方法について)
    - ・取締役とのコミュニケーションツールとしての活用法もあるのではないか。

- ・取締役へ配布はするが、末尾のサインはもらっていない
- ・チェック項目はカスタマイズして活用している。
- ・確認書は委員会等設置会社、監査等委員会設置会社でも活用できるのか
- ・確認書改訂事項をメールで伝え、総会前に確認依頼。回答で回答項目にチェックがないところを再度確認している。
- ・各取締役の確認結果をマトリクスにして一覧化している。

4) 委員長より閉会の挨拶

質疑応答の後、菊谷運営委員長が講師に感謝の意を表されるとともに、参加者に対しアンケートへの協力要請を行う（後日メールで発信）とともに、次回の監査技術ゼミは来月3月24日に開催予定の旨案内した後、閉会となった。

以上